



新型コロナワクチンの 廃棄処分の発生について

本市において、新型コロナウイルスワクチンを廃棄する事案が発生しました。
なお、今回の廃棄によるワクチン接種計画への影響はありません。

1. 事案の概要

令和3年6月14日(月)医療従事者等に対する接種場所で新型コロナワクチンを保管していた冷蔵庫が停止し、庫内の温度が20度に上昇していることを確認したため、庫内に保管していた22バイアル(132回分)を管理温度の異常により廃棄しました。

2. 発生日時

令和3年6月14日(月曜日) 午前9時30分

3. 発生場所

習志野市急病診療所(保健会館2階)にあるワクチン専用冷蔵庫(平成20年製)

4. 事案が判明した経緯

6月9日(水) 臨時で使用しているワクチン専用冷蔵庫をコンセントに繋ぎ、庫内温度6度に設定。正常稼働を確認。

6月10日(木) 午後3時 庫内温度を確認の上、医療従事者等接種予定のため、ディープフリーザーから取り出した29バイアルを入庫。

6月11日(金) 7バイアル使用。(異常なし)

6月12日(土) 正常稼働、温度確認。(異常なし)

6月14日(月)午前9時30分 庫内温度20度になっており、冷蔵庫が稼働していないことを職員が確認。(コンセント等外見に異常なし)

5. 原因

原因不明(現在は正常に稼働中)

6. 再発防止

当該冷蔵庫の使用は取りやめ、接種する前にディープフリーザーからワクチンを移動することとする。



未来のために～みんながやさしさでつながるまち～

習志野市

7. 習志野市長コメント

貴重なワクチンを廃棄することとなり、誠に申し訳ありません。

今後、このような事案がおこらないよう再発防止を徹底してまいります。

以上

問合せ先

健康福祉部 健康支援課

電話 047-489-5736